

●発表日：令和8年(2026年)4月21日

## 重要文化財 渡辺崋山筆「四州真景図」、椿椿山筆「山海奇賞図」を 約20年ぶりに展示

重要文化財 渡辺崋山筆「四州真景図」と重要文化財 椿椿山筆「山海奇賞図」(いずれも個人蔵)を4月25日(土)から5月6日(振・祝)まで田原市博物館にて展示します。

「四州真景図」は約20年ぶり、「山海奇賞図」は約15年ぶりの公開となります。  
ぜひご紹介ください。

### 重要文化財 渡辺崋山筆「四州真景図」について

文政8(1825)年6月29日から7月上旬にかけて、33歳の渡辺崋山が武蔵・下総・常陸・上総の4か国を旅した時のスケッチで、31図が描かれ、全4巻からなります。旅人としての崋山の視線が活かされ、自然や人の営みまでも感じさせる崋山の代表作の一つです。



重要文化財 渡辺崋山「四州真景図」(部分)  
個人蔵

### 重要文化財 椿椿山筆「山海奇賞図」について

椿椿山(1801~1854)は渡辺崋山の高弟です。文政10(1827)年6月5日に江戸を出発し、中山道を経て6月22日に京都へ到着するまでの道中を描いた作品。38図が描かれ、全3巻からなり、椿山の代表作の一つです。



重要文化財 椿椿山「山海奇賞図」(部分)  
個人蔵

【展覧会名】描かれた風景—特別展示 重文 渡辺崋山「四州真景図」と重文椿椿山「山海奇賞図」—

【会期】令和8年4月11日(土)から6月7日(日)まで

※重要文化財の展示は4月25日(土)から5月6日(振・祝)まで

【場所】田原市博物館

【観覧料】一般 310 円、小中学生 150 円

※東三河在住の小中学生は、ほの国こどもパスポートの提示で観覧無料